

2021/12/30

(うときゅういっきの「あんた、これを料理いうたはんの!?!」シリーズ 名刺代わりのご挨拶)

「金がのうて、うまいもん喰おうおもたら、メチャメチャいろいろ考えて工夫しよりまっえ。要はそれだけのことでんがなあ」

今から遡ること凡そ4年前、その翌年からカーリー屋商売を始めるにあたって
当時今よりはまだまだお金もたくさんあったのですが、

「どうせ最初から上手くいく筈なんかないわなあ。したら、上手くいくまで当分は貧乏暮らしやろう。初めから飛ばしたらあかんなあ。銭、抑えてかからなああかんわな」

という訳で、長い先を見越して「危機管理」の為に始めた側面がございました。

そもそも料理人が一流で素材が超極上品の料理を食するなどという事は、我々レベルの暮らしをしている人間の生涯において、そうそう滅多矢鱈にあるものではありません。

ならばここは一番、

●毎日でき

●創意工夫で頭の体操にもなり

●しかもお金がかからない

「貧乏想定特別訓練」を始めてみるか!!

というのが事の発端でした。

それにしてもなんでそんな先を見越したようなことを考えたのかと申しますと、依然と止めていた会社の上司から

「アメリカ赴任から日本に帰任するにあたって時差ぼけがあるので、帰着日の1週間前から徐々に国内時間に合わせた調整を始めたんだ」

という話を聞いていたからでした。

当時は

「ええ!? 多忙を極める中で、そんなことまで考えてはるのお? やっぱ、京大電子工学出はちゃうんやなあ」

と感心して魂消(たまげ)ついでに

「どんなに今が大変であってもその中において必ず将来を想定しておく」

という発想を

「これは応用次第でいろんな場面に使えるわい。ウッシッシ。イチ儲ケッ」

とばかりに、その上司からこっそり盗んだからでした。

しかし、そのような発想をもってしても現実には想定以上に遥かに厳しく、コロナ禍のせいもあって4年たった今では

「貧乏想定」どころか「貧乏そのもの、"bimbo" itself」

「特別訓練」どころか既に「生活の必須アイテム necessary items for living」

「実戦さながらに」どころか「実戦そのもの、combat itself」

となっております。

以前ご紹介いたしました当シリーズの告知文では

「おふくろ譲りの「勿体ない」精神と料理好きの自分の心象のコラボで」

などと訊いた風なカッコいい能書きを垂れましたが、実際には上述のようなことが発端となり、同じく上述のようなことが今現在、日々展開されております。

さてもさてさて、それでは次回から 2017 年当時の事の発端から紐解いた具体的

「あんた、これを料理いうたはんの!？」

(告知文では仮称「こいうの、料理って言えるの？」でした)

料理をご紹介したいと思います。

本日は名刺代わりのご挨拶という事で、それに止めさせて戴きたいと思っております。